



第2章

魅力にあふれる まちをめざして

- 2-1 継承すべき魅力
- 2-2 新たな魅力の創造
- 2-3 魅力を生かすまちづくりに向けて



(1) 魅力の要素

第1章で整理した、文京区の立地・地形や歴史・文化等を踏まえ、文京区の魅力となるそれぞれの要素については、次のようになります。



① 交通利便性

- 地下鉄は、区内に6路線、全17駅が整備されており、主要ターミナル駅へのアクセスが良好で、区内外を結ぶ交通の中心となっています。
- 幹線道路を中心にバス路線が複数通り、それを補完するように通るコミュニティバス*は、大学や病院、歴史・文化施設など区内の主要施設を結んでいます。
- 区内や近隣区への移動は自転車の利便性が高く、レンタサイクルや事業者による自転車シェアリング*事業により、自転車利用環境の充実が図られています。
- 事業者によるマイクロモビリティ*のシェアリングポートが設置されるなど、移動手段の多様化により、更なる交通の利便性の向上が図られています。

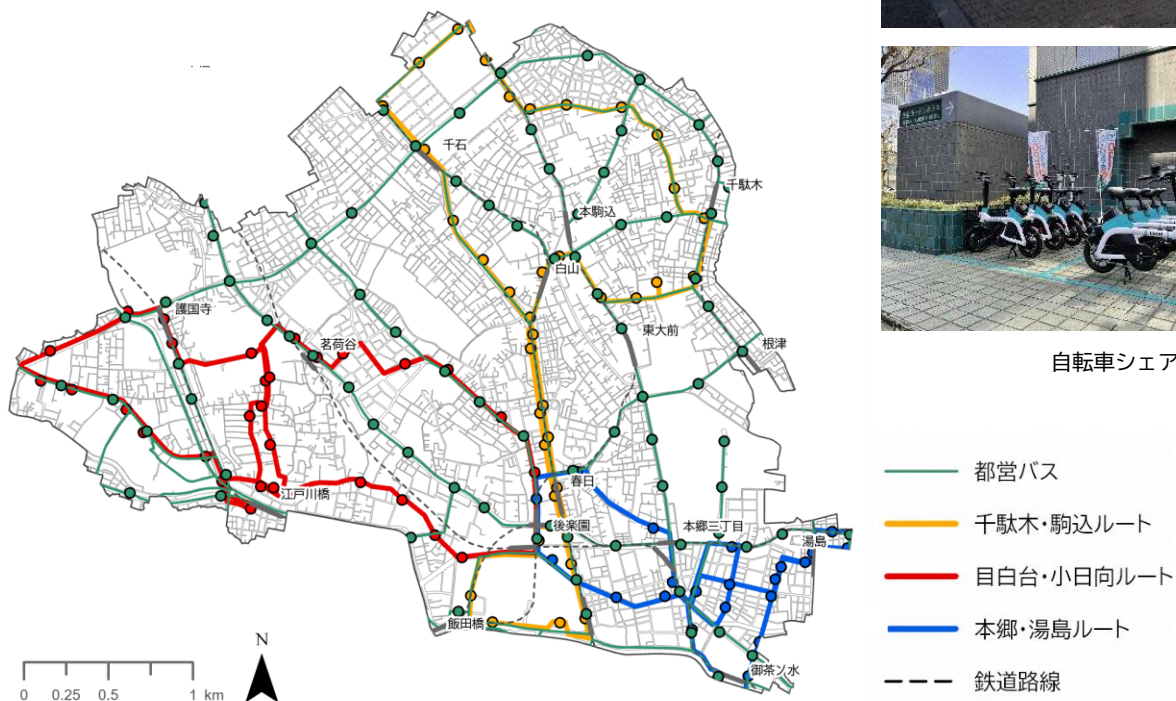


文京区コミュニティバス* B-ぐる



自転車シェアリング*

■ 区内の交通網



出典：文京区「B-ぐるマップ」及び、都バス路線図「みんくるガイド」を参考に作図

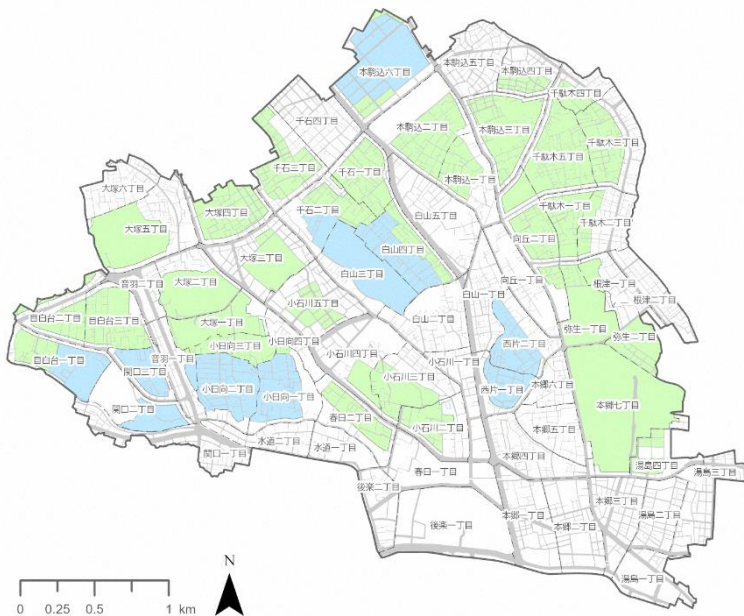
② 閑静な住宅地

- 西片一・二丁目、白山四丁目、本駒込六丁目、千石二丁目、小日向一・二丁目、目白台一丁目、関口二・三丁目などに閑静な低層住宅地が広がっています。区内全域で住居系の用途地域*は、約6割を占め、都心に近接しながらも閑静で比較的良好な住宅地を形成しています。
- 文京区内の刑法犯の認知件数は10年前と比較して、半数以下に減少しており、記録のある平成15(2003)年から現在まで、20年以上、特別区の中で刑法犯の認知件数が最も少ない区となっています。



閑静な住宅地

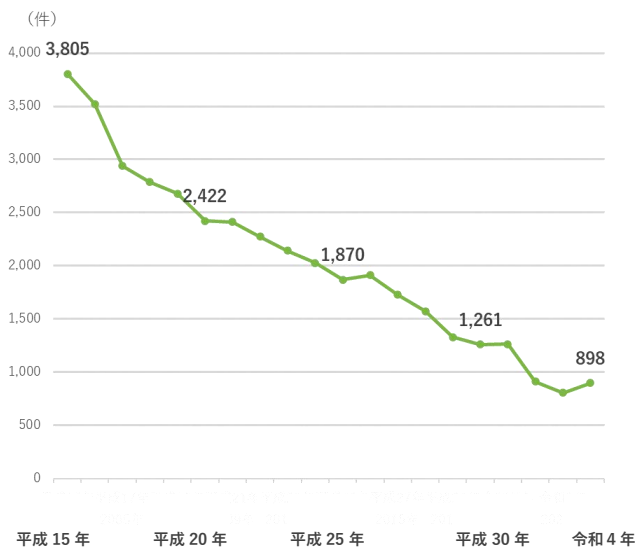
■閑静な住宅地のエリア（住宅系用途の範囲）



- 低層住宅地
(第一種低層住居専用地域)
- 中高層住宅地
(第一種中高層住居専用地域、
第二種中高層住居専用地域)

出典：令和2年文京区都市計画図閲覧・検索システムより作図

■文京区内刑法犯認知件数の推移



出典：文京区資料

■23区別年間犯罪件数（下位10区）



出典：警視庁「区市町村の町丁目別、罪種別及び手口別認知件数（令和4年）」

③ 緑と川

- 小石川後楽園・六義園・小石川植物園・肥後細川庭園・教育の森公園・護国寺・東京大学キャンパスなど、歴史的にも由緒ある都会の中のオアシスとなる大規模な緑があります。
- 胸突坂や暗闇坂など起伏に富んだ地形により、斜面ならではの見える緑があります。
- 寺社や住宅市街地を中心に屋敷林が多く、視覚的にも緑が豊富です。
- 神田川は、水質が改善されてアユの遡上が見られるようになり、市街地に潤いを与える水辺空間となっています。



小石川後楽園



神田川

■樹林地等の分布



出典：文京区「第9次文京区緑地実態調査」及び地理院タイル（標高タイル）を加工して作図

④ 坂

- 文京区内には、谷道・尾根道といった地形を生かした道路が多く、その婉曲した線形が景観を变化に富んだものにしていきます。また、坂道を上にしたがって開ける視界などにより地形の起伏を感じさせます。このような古くから継承されてきた地形の脈絡を感じさせるような名のある坂は 113*あり、その中には文学作品に登場する坂や地域を特徴づけている名の坂も多く、変化に富む風景をつくっています。

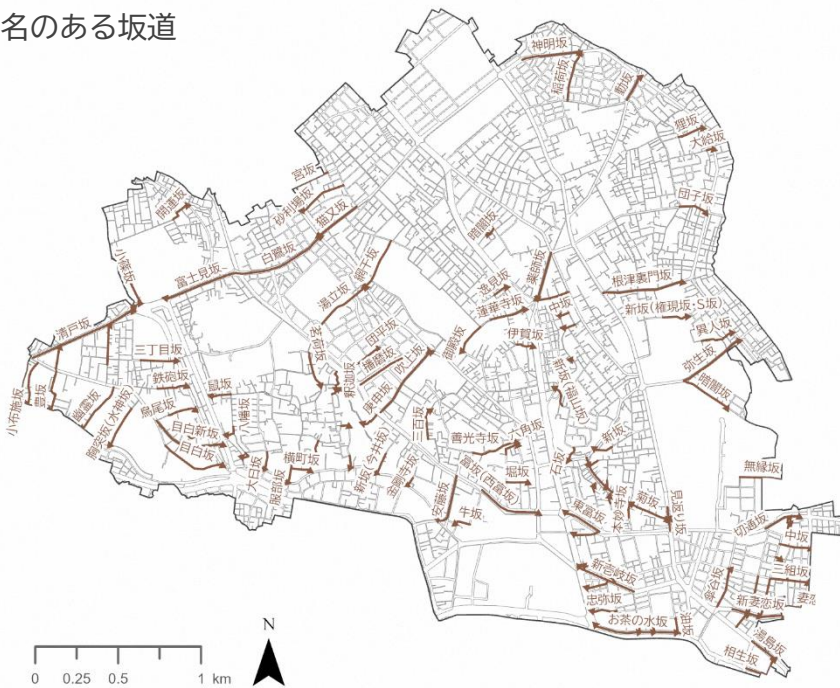


暗闇坂



釈迦坂

■名のある坂道



※：『ぶんきょうの坂道』（文京ふるさと歴史館発行）に掲載されている坂道が115（うち2つは現存しない）

出典：文京区景観計画資料編より作図

⑤ まち並み

- 現在に至るまで江戸時代の道が多く残っており、根津・千駄木や菊坂、白山の界隈などには趣のある路地や路地沿いの植栽がみられ、都心に近接しながらも、風情あるまち並みが今なお残っています。
- 白山通りなど街路樹の豊かな大通りがあり、播磨坂は戦災復興計画*の当初の構想が実現した、数少ない美しい並木道となっています。



千駄木



播磨坂

⑥ 歴史・文化

- 旧加賀屋敷御守殿門(赤門)・護国寺本堂・根津神社楼門・旧東京医学校本館など国指定の文化財のうち建造物及び記念物が14件、湯島天満宮表鳥居・徳田秋声旧宅など東京都指定の建造物及び記念物が31件、そして吉祥寺経蔵・千姫墓など区指定の建造物及び記念物が29件あります。また寺社が多く、まちなかのいたるところに歴史・文化的資源が分布しています。
- 数ある文化的な特徴の中でも際立ったものとして、森鷗外や夏目漱石、樋口一葉などの文学者が多く居住し、執筆活動を展開したことがあげられます。また、地域と寺社の結び付きが強いことや、町会名が昔の町名の名残をとどめていることも文化的特徴の一つです。

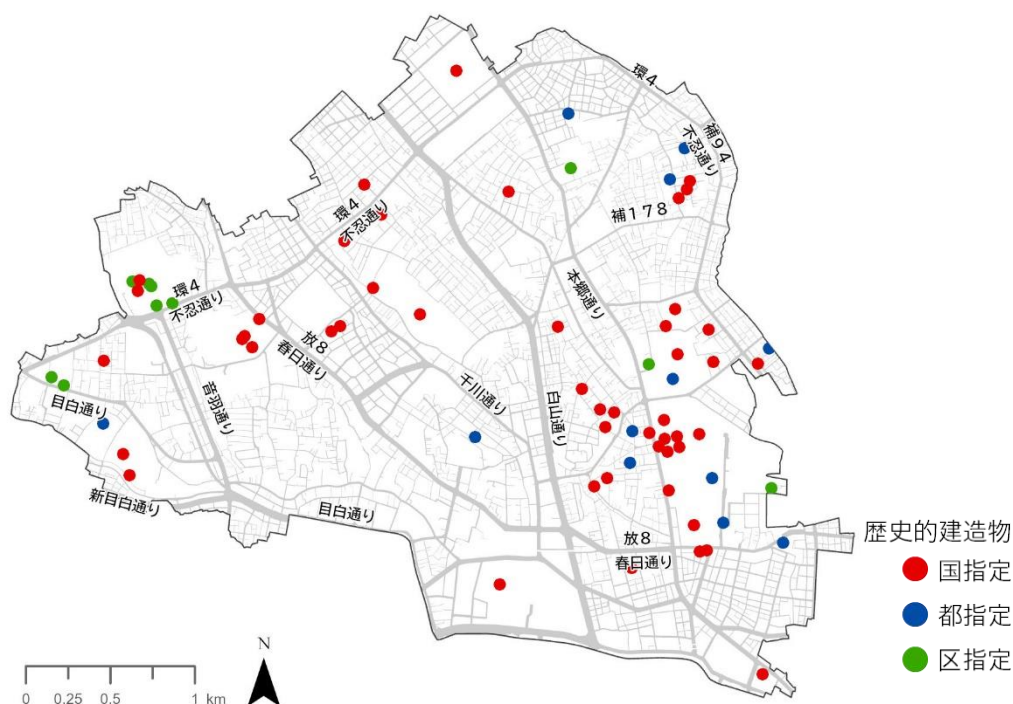


護国寺本堂



根津神社楼門

■ 歴史的建造物の分布



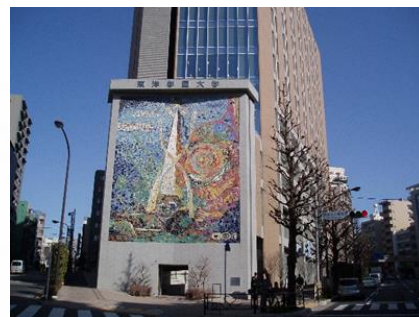
出典：文京区ホームページより作図

⑦ 大学の集積・教育環境

- 19の大学が区内各所に立地しており、優れた研究や技術情報、人材を生み出す環境は、企業に対する良好な立地条件となっています。また、大学が立地する周辺では、スタートアップ*などイノベーション*による新たな地域の魅力創出が期待されます。
- 高等学校は24あり、世田谷区に次いで多く集中し、教育環境に恵まれています。

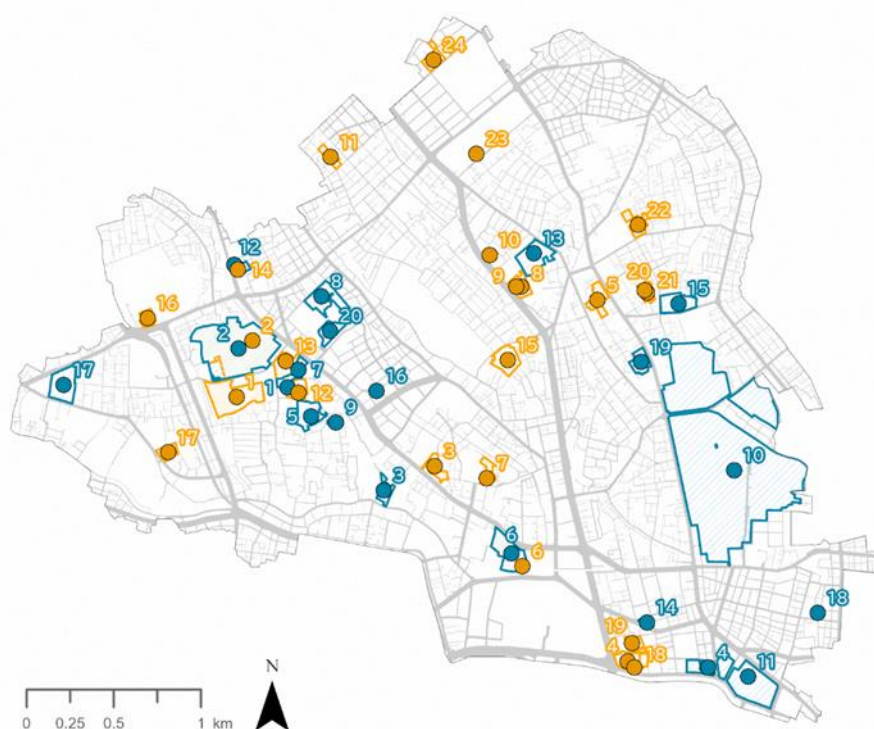


東京大学



東洋学園大学

■大学・高等学校の分布



● 大学・短期大学
● 高等学校

出典：文京区ホームページより作図

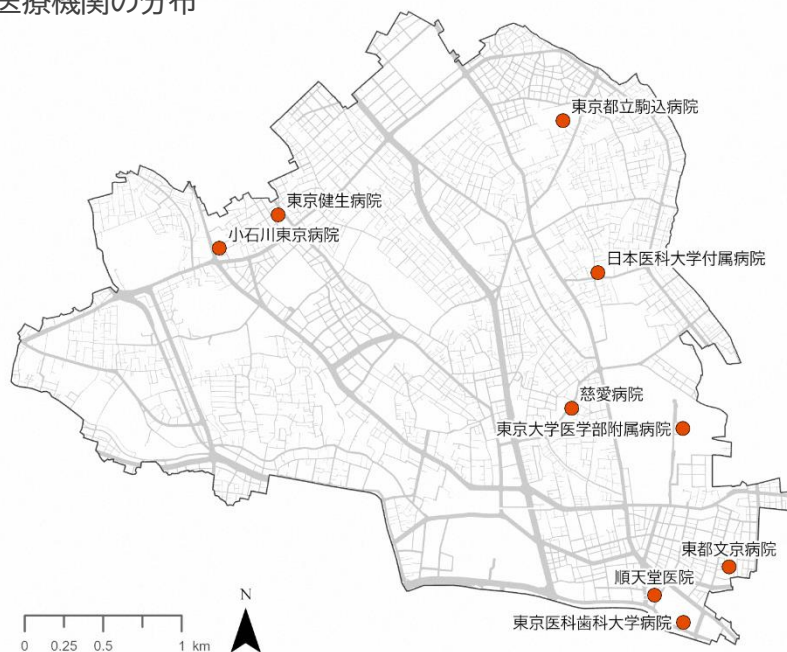
大学・短期大学一覧	
1 跡見学園女子大学	13 東洋大学
2 お茶の水女子大学	14 東洋学園大学
3 国際仏教学大学院大学	15 日本医科大学
4 順天堂大学	16 日本社会事業大学
5 拓殖大学	17 日本女子大学
6 中央大学（理工学部）	18 日本薬科大学(お茶の水キャンパス)
7 中央大学（法学部）	19 文京学院大学
8 筑波大学（付属学校教育局）	20 放送大学東京文京学習センター
9 貞静学園短期大学	
10 東京大学	
11 東京医科歯科大学	
12 東邦音楽大学・東邦音楽短期大学	

高等学校	
1 筑波大学附属高等学校	13 跡見学園高等学校
2 お茶の水女子大学附属高等学校	14 東邦音楽大学附属東邦高等学校
3 都立竹早高等学校	15 東洋大学京北高等学校
4 都立工芸高等学校	16 日本大学豊山高等学校
5 都立向丘高等学校	17 獨協高等学校
6 中央大学高等学校	18 昭和第一高等学校
7 小石川淑徳学園高等学校	19 桜蔭高等学校
8 京華高等学校	20 郁文館高等学校
9 京華商業高等学校	21 郁文館グローバル高等学校
10 京華女子高等学校	22 駒込高等学校
11 東洋女子高等学校	23 広尾学園小石川
12 貞静学園高等学校	24 文京学院大学女子高等学校

⑧ 医療機関

- 病院が9あり、人口当たり医師数は千代田区に次いで多くなっています。大規模な大学病院もあり医療環境に恵まれ、区内外から人が訪れます。

■医療機関の分布



順天堂病院・東京医科歯科大学病院



東京都立駒込病院

出典：東京都福祉保健局「医療機関名簿（令和4年）」より作図

⑨ スポーツ・レクリエーション施設

- 東京ドーム及び講道館のスポーツ施設や、東京ドームシティの遊園地、ホテル及びスパ（温泉）などを合わせた総合的なレクリエーション施設は、全国的に知名度が高く、多くの人が訪れています。



東京ドームシティ

⑩ イベント・セミナー施設

- 文京シビックセンターや東京ドームシティ、大学等では展示・催しもの・公開講座などが開催され、知的な興味を満足させてくれる場や機会が多くあります。また、文京花の五大まつり*等の祭事などが開催され、多くの人でにぎわっています。



白山神社
あじさいまつり



根津神社
つつじまつり

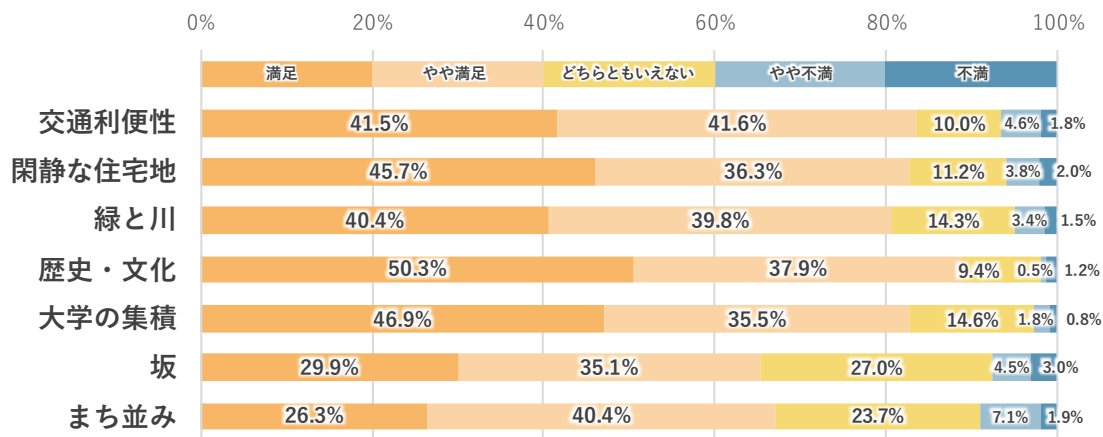
(2) 3者の視点からみる文京区の魅力

文京区の魅力の要素について、居住者、事業者・就業者、来訪者の3者の視点からの分析を示します。

① 居住者の視点

- 居住者にとっては、豊かな歴史・文化的資源があること、大学が集積し、教育や医療機関が充実しているなど、住んでいるまちの誇りにつながる要素に魅力を感じる人が多くなっています。
- さらに交通利便性が高いこと、閑静な住宅地や大規模な緑地、庭園、寺社などのオープンスペース*が数多く存在し、水辺空間としての神田川があることなど、良好な住環境の形成につながる要素についても高い評価となっています。

■魅力の各要素に関する満足度（区民）

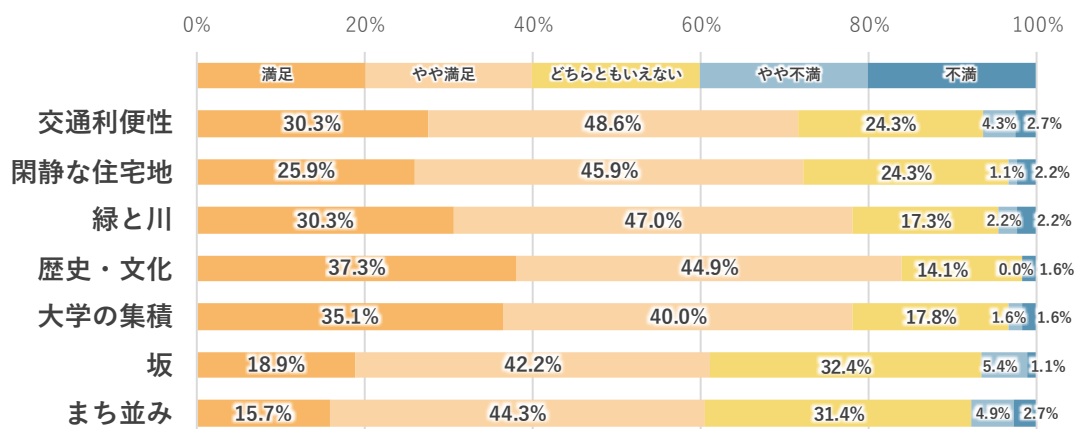


出典：令和3年度文京区都市マスタープランの見直しに向けた区民意識調査

② 事業者・就業者の視点

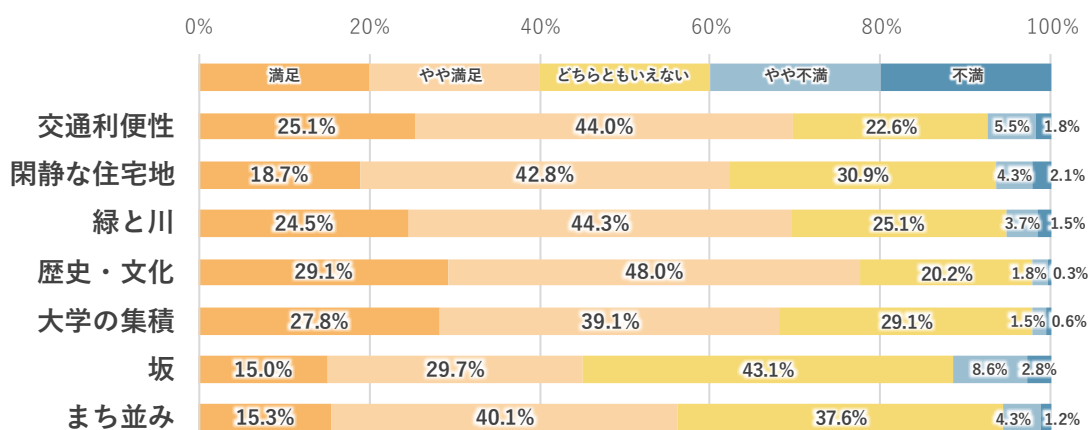
- 文京区においては、学校関連、情報通信関連、宿泊関連、印刷関連などの業務に従事する人が東京都の平均に比べて多いことが特徴です。また、大学が多いことから産学連携の機会に恵まれていることや医療機関が多いことが、就業者や事業所にとって重要な要素としてあげられます。そのため、交通利便性や大学や病院の集積、教育、医療機関の充実が高い評価となっています。
- また、歴史・文化的資源があるなど事業を行っているまちの誇りに繋がる要素を魅力に感じている事業者・就業者も多いです。

■魅力の各要素に関する満足度（事業者）



出典：令和3年度文京区都市マスタープランの見直しに向けた事業者アンケート

■魅力の各要素に関する満足度（就業者）

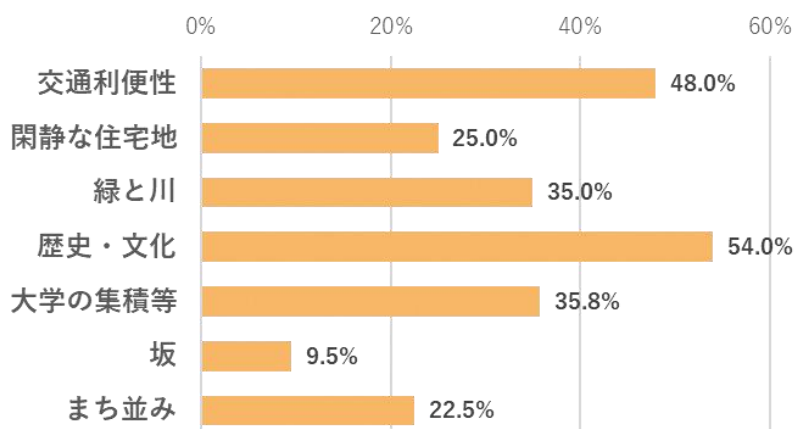


出典：令和3年度文京区都市マスタープランの見直しに向けた就業者アンケート

③ 来訪者の視点

- 文京区内には、江戸時代から近世にわたる多くの歴史・文化的資源が分布し、それが豊かな緑や歴史を伝える路地などのまち並みと組み合わせられて、まち歩きを楽しむ多くの来訪者をひきつけています。そのため、歴史・文化的資源について高い評価となっています。
- 一方、後樂園駅周辺にはスポーツやレクリエーションを楽しめる施設があり、国内でも有数の場となっています。また、文京シビックセンターや大学などで、イベントやセミナーなどが多く開催されていることも要素としてあげられ、大学の集積や教育、医療機関の充実も高い評価を得ています。
- また、交通利便性についても満足度が高くなっています。

■魅力の各要素に関する満足度（来訪者）



出典：令和3年度文京区都市マスタープランの見直しに向けた来訪者アンケート

(3) 文京区の魅力の特徴

文京区には高く評価することができる様々な魅力要素があります。これらの魅力を一つのイメージとして捉えると、次のようになります。

豊かな緑と変化に富んだ地形のなかに
歴史と文化が薫るまち

(1) 新たな魅力の創造に向けて

文京区の魅力を継承し、磨き上げていくことが必要とされている一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした働き方や住まい方などの変化により、価値観やライフスタイルの多様化はますます進んでいることから、新たな魅力を創造し、様々なニーズにこたえていくことが必要とされています。

また、今後、本格的に訪れる人口減少局面において、消費の縮小や人手・雇用の減少が懸念されるなか、安定した経済成長や拡大、厳しい国際競争に勝ち抜いていくためには、多くの人材を惹きつける魅力の向上がこれまで以上に問われる状況となっています。

このようななか、IoT*、ビッグデータ*、AIなどに代表される第4次産業革命*や Society5.0*の進展も相まって、経済・社会両面でのイノベーション*の創出を図ることが不可欠となっており、人々の交流やオープンイノベーション*を通じてつくられる新たなアイデアやビジネスにより、さらなる魅力の創造が期待されます。

イノベーション*の促進には、多様なプレーヤーによる知識や情報が有機的に結びつくことが必要であり、そのための拠点形成においては、ビジネス、研究、教育等の機能が集積することが重要な要素といえるなか、文京区は、既に都心部を中心に業務機能、研究開発拠点、教育機関が多く集積しており、イノベーション*を起こすポテンシャルがあると言えます。

そのため、それら機能をつなぎイノベーション*創出につながる環境整備やネットワーク化を図るまちづくりが重要です。

(2) 文京区におけるイノベーション*の可能性

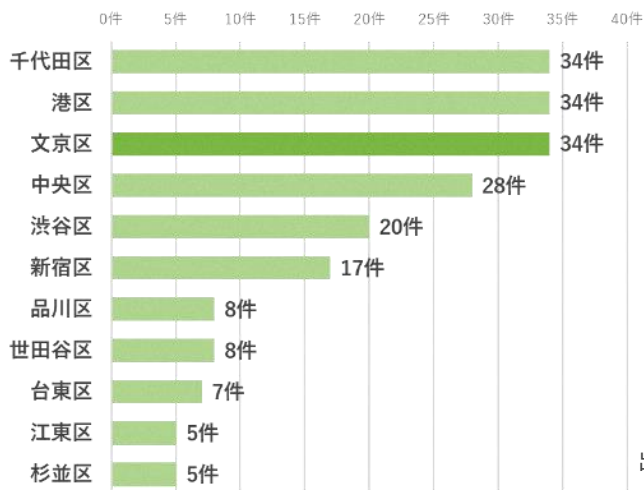
① 多様な人との出会い・交流の機会

- イノベーション*を生み出すには、多様な主体同士による、出会い、交流、結合が必要です。文京区には、東京ドームシティや全国的にも名高い庭園など、多くの観光スポットや名所が立地しており、多くの来訪者を呼び込む要素となっています。
- 大学等などでは、学会や催し等が開催されるなど、国内外から多くの研究者や学生等が集まるきっかけにもなっています。

② 大学や研究機関等の集積によるスタートアップ*

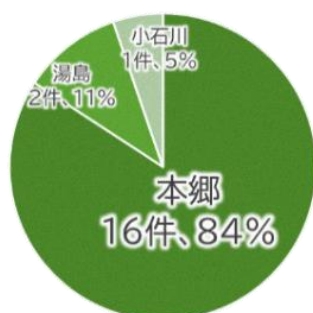
- 文京区内には大学や研究機関等が多く立地しており魅力の要素の一つとなっています。これら大学等に潜在する研究成果を活用したイノベーション*の創出は、新たな魅力を創造していくものとして高く期待されるものです。
- 文京区では、既に大学発ベンチャー企業*が多く起業・活動しており、イノベーション*の重要な担い手となっています。なかでも大学が集積する本郷を中心とした都心部でその動きは多くみられ、このようなエリアでは、スタートアップ*企業が成長しやすい環境整備を図っていくことが重要です。

■23区における大学発ベンチャー企業数（上位10区）



出典：経済産業省「大学ベンチャーデータベース」
(2023年6月時点)

■文京区の大学発ベンチャー企業の所在地



出典：経済産業省「大学ベンチャーデータベース」
(2023年6月時点)

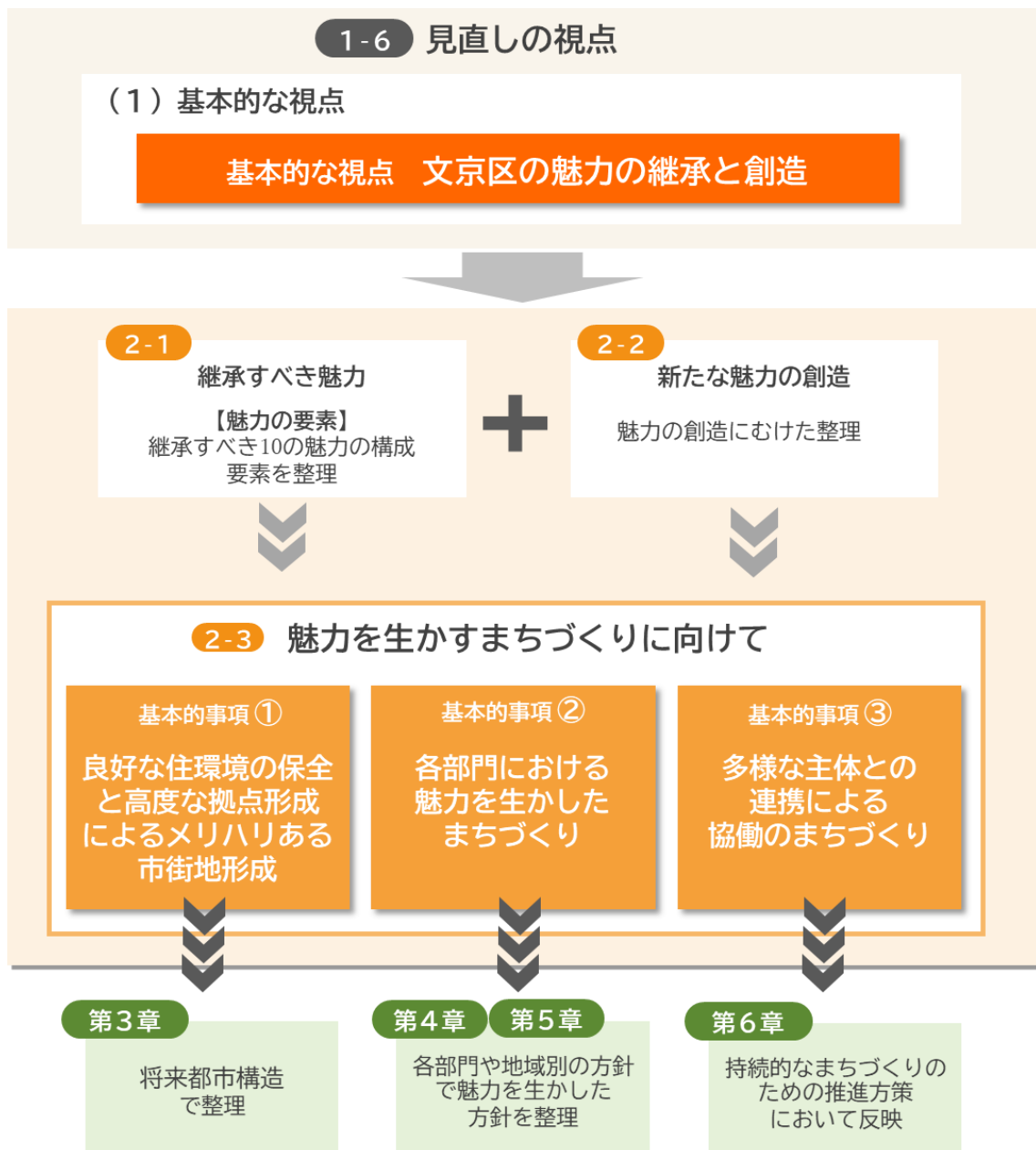
2-3

魅力を生かすまちづくりに向けて

今まであげてきた文京区の魅力の要素は、区独自のまちの機能を支え、個性を発揮させ、総じて区の魅力を高めるという重要な役割を担っています。

しかしながら、時代によってまちは変化し、これらの魅力も次第に喪失してしまう可能性があるため、区の個性となっている魅力を生かしたまちづくりを進めること、そして多くの人にその良さを知ってもらうこと、さらに新たな魅力を創造して一層魅力的な文京区を目指すことなどを通して、それらの魅力を見つめ直していくことが必要です。

そこで魅力を生かすため考慮すべき基本的事項として以下3点を踏まえて部門別や地域別の方針を整理していきます。



基本的事項①

良好な住環境の保全と高度な拠点形成によるメリハリある市街地形成

文京区は、区の面積の約6割を住宅地が占めており、豊かなみどりや風情あるまち並み、交通利便性の高さ、多くの大学や医療機関の集積といった魅力要素が、住宅地としての魅力を高めてきました。このような魅力を継承することで、今後も低層住宅地を中心に、適切な更新を図りながら安全で良好な環境を保全していくことが重要です。

一方で、文京区の都心地域では、多くの人材が集積し、業務機能を中心とした吸引力のある就業の場であるとともにそれらを起点としたイノベーション*が期待されることから、新たな魅力を創造しながら高度な都市機能が集積した拠点形成を図っていくことが重要です。

このように魅力の継承や創造により住宅地と都心地域でメリハリある市街地形成を目指していきます。

基本的事項②

各部門における魅力を生かしたまちづくり

まちづくりにおいては、安全性や利便性を高めることが重要な課題ですが、それだけでは十分ではなく、個性ある魅力を発揮することを合わせて実現していく必要があります。

そのため、①土地利用、②道路・交通ネットワーク、③緑と水のまちづくり、④住宅・住環境形成、⑤景観形成、⑥防災まちづくりの各部門において、魅力を生かすことに一層配慮したまちづくりを進めます。

基本的事項③

多様な主体との連携による協働のまちづくり

まちづくりにおいては、区民等が行う建築物等の整備や土地利用が重要であり、魅力の継承や創造を誘導するため、区では都市計画等の法令に基づく規制その他の施策を行っています。

しかし、各地区の特性は多様であり、魅力をより生かすためには、地区計画*等の地区ごとのルールを活用して、個性あるまちづくりを進めていくことが重要です。

ルール策定のための地区内での合意形成や、具体化のための事業、エリアマネジメント*等において、区内に住む人、働く人、学ぶ人、地域活動団体、非営利活動団体*、事業者及び区の各主体が連携する協働のまちづくりを進めます。